

発売半月で増刷決定!! 共感の声が続々届いています!

ソウル・江南駅女性刺殺事件をきっかけに湧きあがった韓国フェミニズムムーブメントから生まれた本、待望の日本版。昨年12月発売以来売行きよく早くも重版決定しました。同時期刊行の話題書『82年生まれ、キム・ジヨン』(筑摩書房)とは「カルテと処方箋」「Q&A」「課題図書と副読本」とも称され、併読する女性たちが増えています。差別が蔓延する社会に疑問を持ち、声を上げ始めた日本女性たちにまさに共感を呼ぶ内容の本書、ぜひご展開のほどよろしくおねがいたします!

私たちにはことばが必要だ
フェミニストは黙らない

イ・ミンギョン 著
すんみ / 小山内園子 訳

定価 1,700円+税

2刷
2/1 出来!!

Twitterで話題!

大前栗生さん (小説家)

権力構造やあなたを傷つける話を通じない相手はもちろん いろいろなことをあなたは拒絶しているんですよって本で、読めて超よかった。

北條一浩さん (ライター・編集者)

「女性が声を上げはじめたのは、男性を説得し、包容することや、理解にみちびくためではありません。これ以上がまんしたくないからなのです」これだ。これを男性同志諸兄も読んでくれよ。

書評も続々!

『SPA!』(1/22 発売)

倉本さおりさん (書評家)

この本は、女性が物事の決定権を不当に奪われる場面を丁寧に言語化することで、彼女たちに〈自分の心を守る〉ための護身術を授けている

『サンデー毎日』(1/22 発売)

白河桃子さん (少子化ジャーナリスト)

「男女ともに非があると認めて、これ以上の葛藤は起こさないようにしよう」という「一見まともそうなことば」にこそ気をつけろとある。「現状維持」を促すものだからだ。



【本書の内容】 韓国の女性たちによって企画された、差別問題で苦しむ女性のための日常会話のマニュアル書。差別がどのように蔓延し、どういう態度をとるべきかを提言、それをふまえた上で実際に会話する(またはしない)方法を説いている。

FAX: 03-3294-2177 JRC宛

◎取次= JRC tel 03-5283-2230 fax 03-3294-2177

JRCを通して全ての取次への出荷が可能です。

◎返品は無期限で承ります【返品了解者: 宮川】

書店番線印	ご注文数	タバブックス	人文社会／フェミニズム・女性問題	返 品 条 件 付 き 注 文 扱 い
ご担当 様		<p>私たちにはことばが必要だ 2刷</p> <p>フェミニストは黙らない</p> <p>イ・ミンギョン 著 すんみ / 小山内園子 訳</p> <p>2018年12月発売 定価 本体 1700円+税 ISBN978-4-907053-27-7</p>		
ご担当 様		<p>性暴力被害、ジェンダー格差、#metoo... 女性問題取材し発信し続ける小川たまか初の著書</p> <p>「ほとんどない」ことにされている 側から見た社会の話を。 3刷</p> <p>小川たまか 著</p> <p>2018年7月発売 定価 本体 1600円+税 ISBN978-4-907053-26-0</p>		